條文庫

五十五
五十六

へ13
2944
13

へ13
2944
19
特

昭和九年
七月九日
購求

澤瀉文庫

万亭應賀著

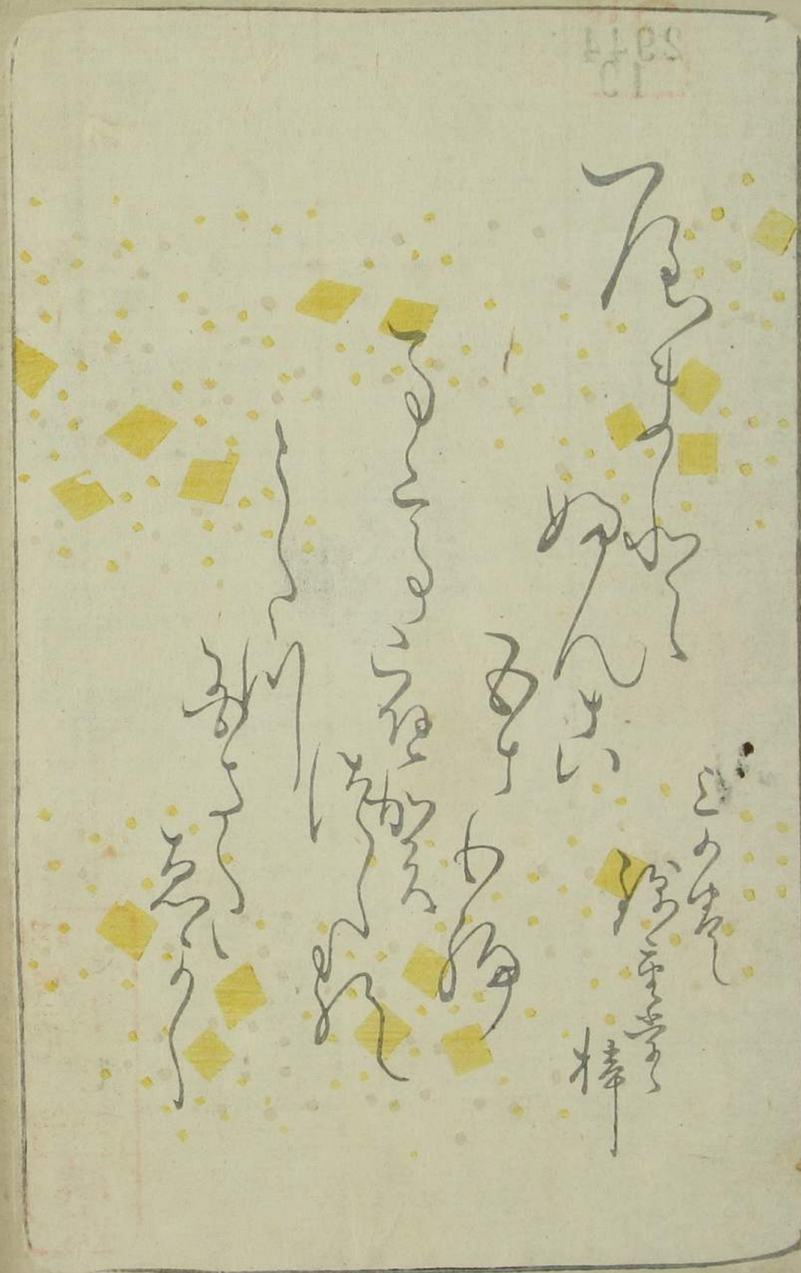
倭文庫

一壽齋國貞画

寅之新刻

五十五編

錦重堂版



歌川國貞画

釋迦八相倭文庫五十五編叙

夫慳貪愚癡の不善人は善人の師なり正信孝子の善人は不善人の師なりとされば善も不善も共に心の師となるものなり故月蓋の不善を觀て怖畏法名童子の善をこそ進まんことを願ふ扨予數度三宝の名を戯作ふ著ば是越法の大罪なりて地獄へ墮落と思へ一日法華經を讀まば若人爲佛故建立諸形像乃至童子戯若草木及筆或以指爪甲而畫作佛像如是諸人等皆已成佛道とこれば法華の功徳なるものと心うまつて筆を採こと尚しく

慶應二丙寅年　孟春吉日發市

越法罪人

万亭應賀誌

北天竺毘舍離王の長臣高禄の男法名童子孝行の爲に身を賣て山神の生身御供と成る圖

指鬘外道

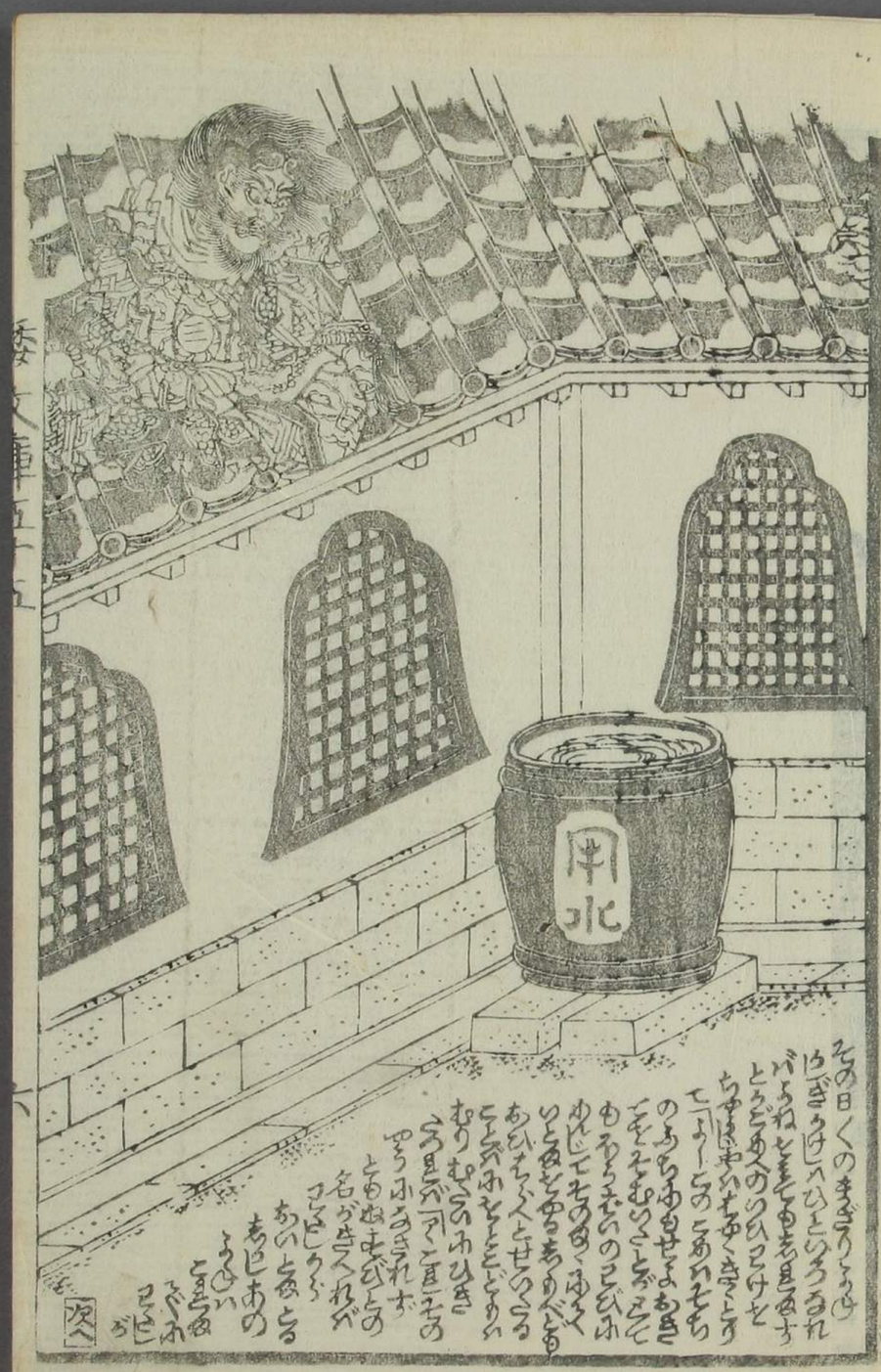
佛説鴦崛摩經に曰 舎衛城の異梵志を師として聰明賢才五百弟子の首坐にありて 初の名を一切世間現と号す 師の佳夫あれバ 師の室深く懸想を 然も共深心ざるを根として 室夫は讒をれに依て 師謀を以て渠を殺さん為百人を殺して其指を首髪とせしめバ 道徳備はらんと邪訓せ▲

▲益りおいて多人を殺指を額の鬘とせしが 鴦崛摩と指鬘外道と云

ぐわうろうの☖ [illegible] 指鬘げだう [illegible] 梵志 [illegible] 九十九人 [illegible] 大林 [illegible] 百 [illegible]

◐せそんの [illegible]

つき
ちりとしりぞけ
ひとりものを
ちりめんの
ふくろ
ちりひろ
いとをかく
利
めんせんへもきめんと


用水
次へ

世
目
高

多

月

非異人作惡異人受苦報自業自得果報生皆如是

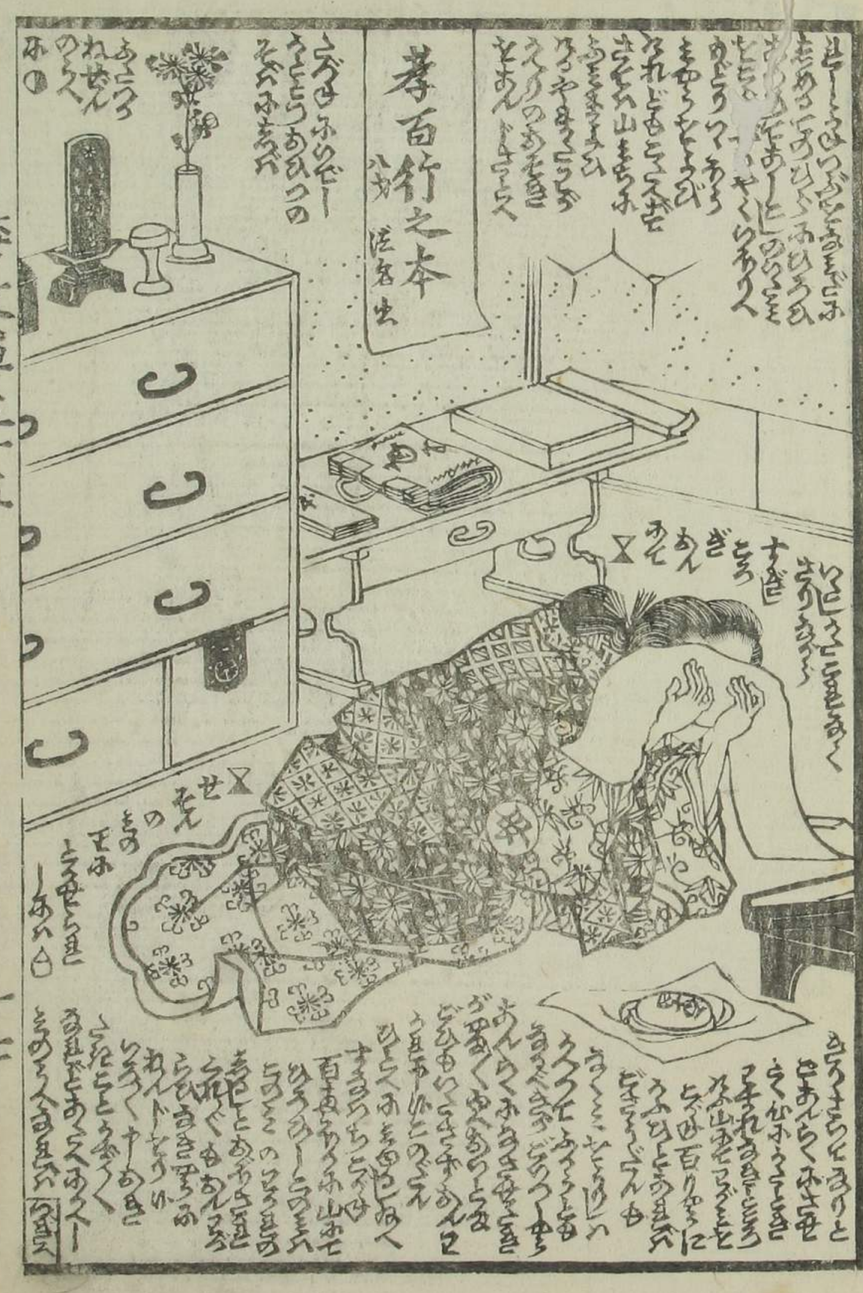
應賀作國貞畫

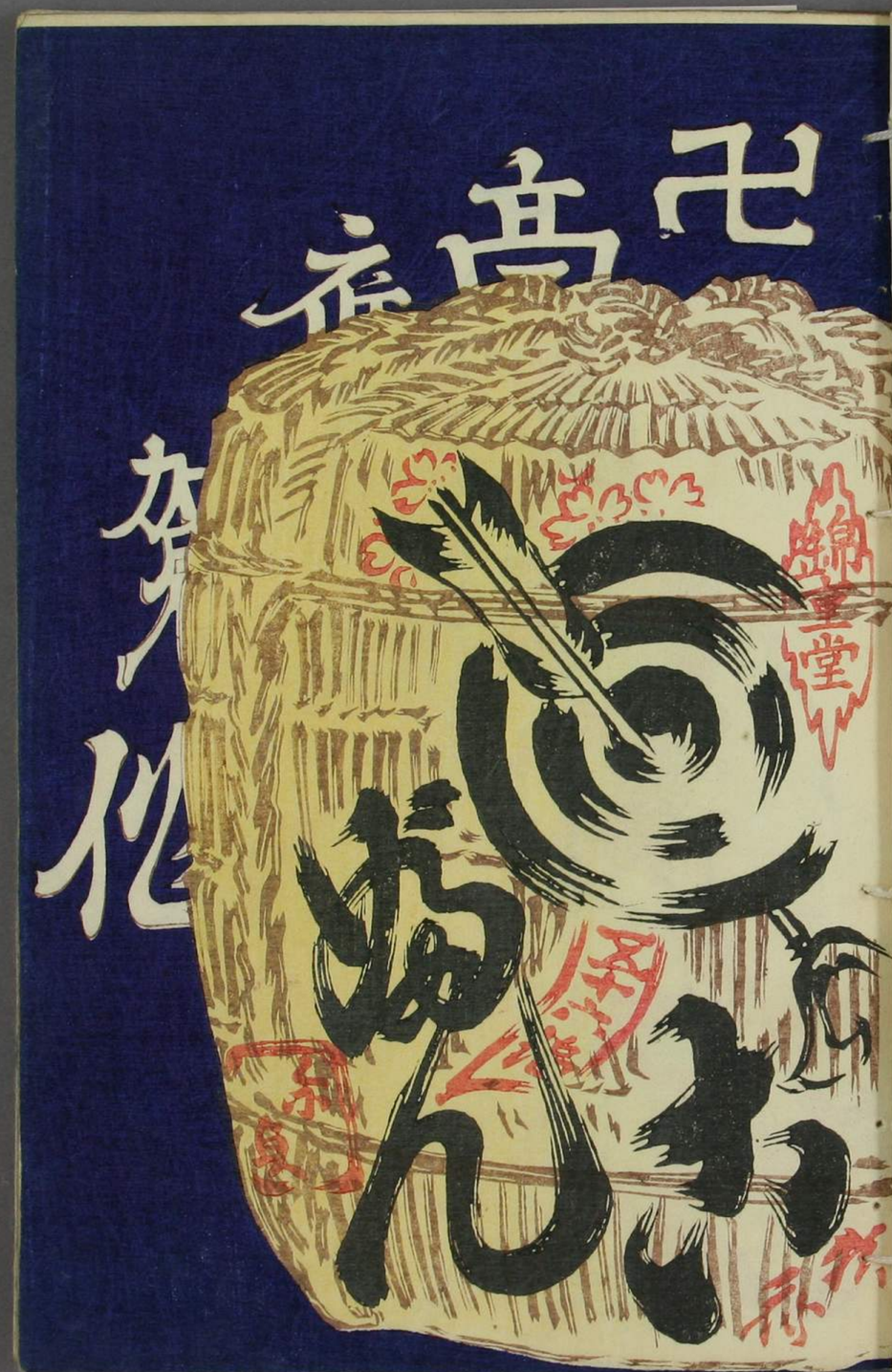
指縵善道帰す

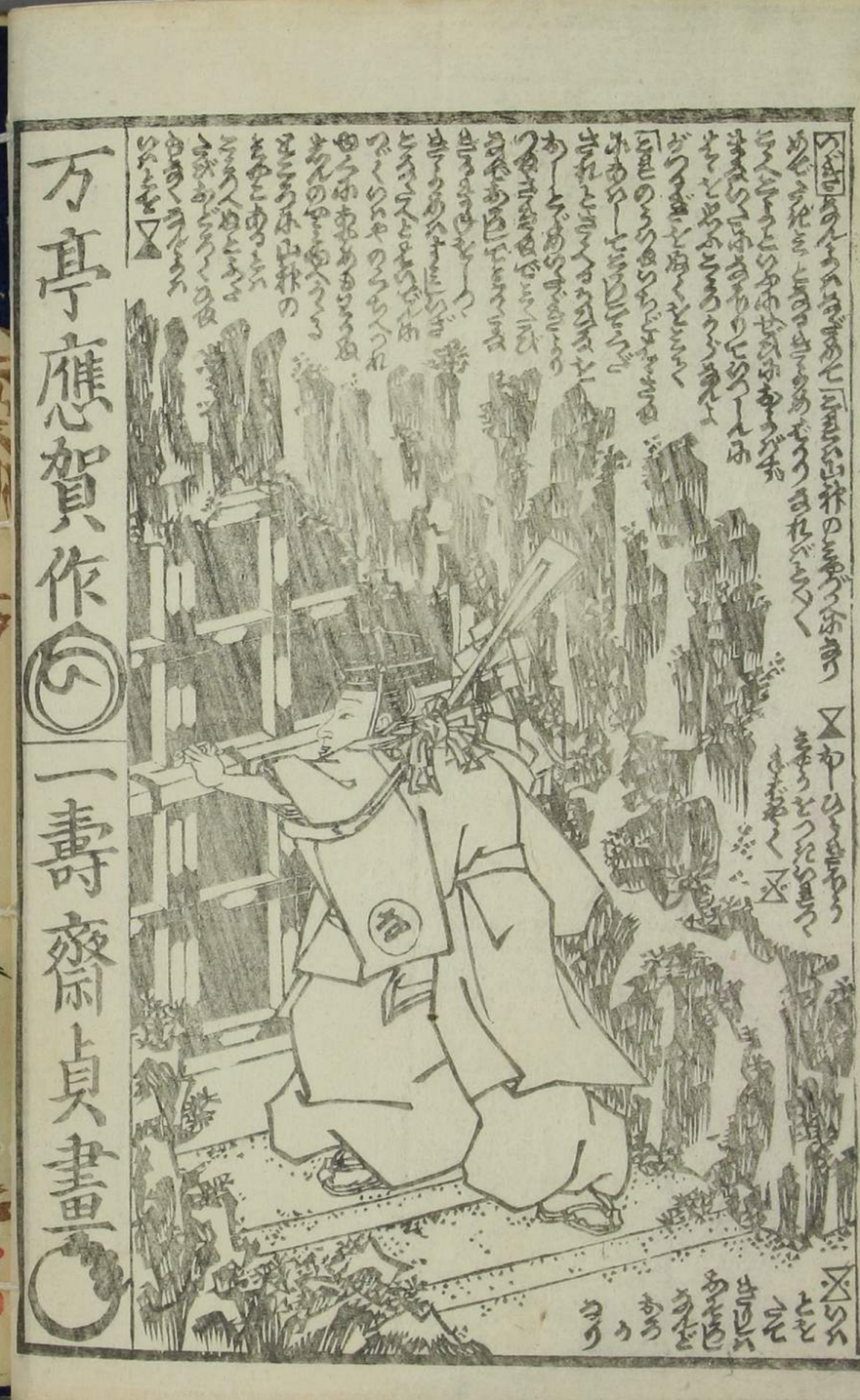
ばくろう長者
ごんびり長者
月

せんあく長者
せんざいち長者
きどろ長者

孝百行之本




高
鯛亭堂


万亭應賀作
一壽齋貞畫

倭文庫五拾六編

上冊

万亭應賀作

一壽齋國貞画

下冊

錦重堂板

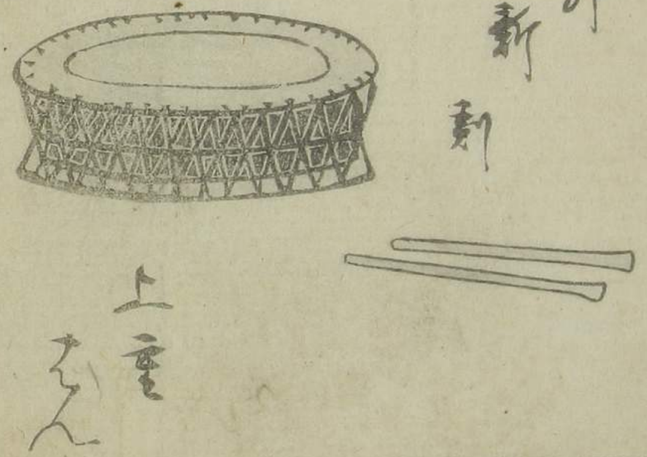
歌仙

五十六編

下の巻

慶賀作

國貞画



上巻

丁卯新刻

釋迦八相倭文庫五拾六編序

夫佛書ゆゑ多く勝鬘姫の形醜惡く深室ゆ匿し置佛光ゆ感じて端正ゆ變體せる叟を記ども勝鬘經ゆ惡女の說は是ゆまつたく賴提ゞ傳を錯誤せる成べし其勝鬘賴提は共ゆ波斯匿王の女ゆして賴提ゆ如云醜女の說あり然れども此巻ゆ流布の說ゆ擬らく賴提の名及び正說をもぶまべ有心者雜寶藏經を開く見よなんのかたと權識ぶるも假名本りつゞざる贅言ものれども釋迦とつゞ二字ゞ有ゞ慢氣らくゝよ爾云

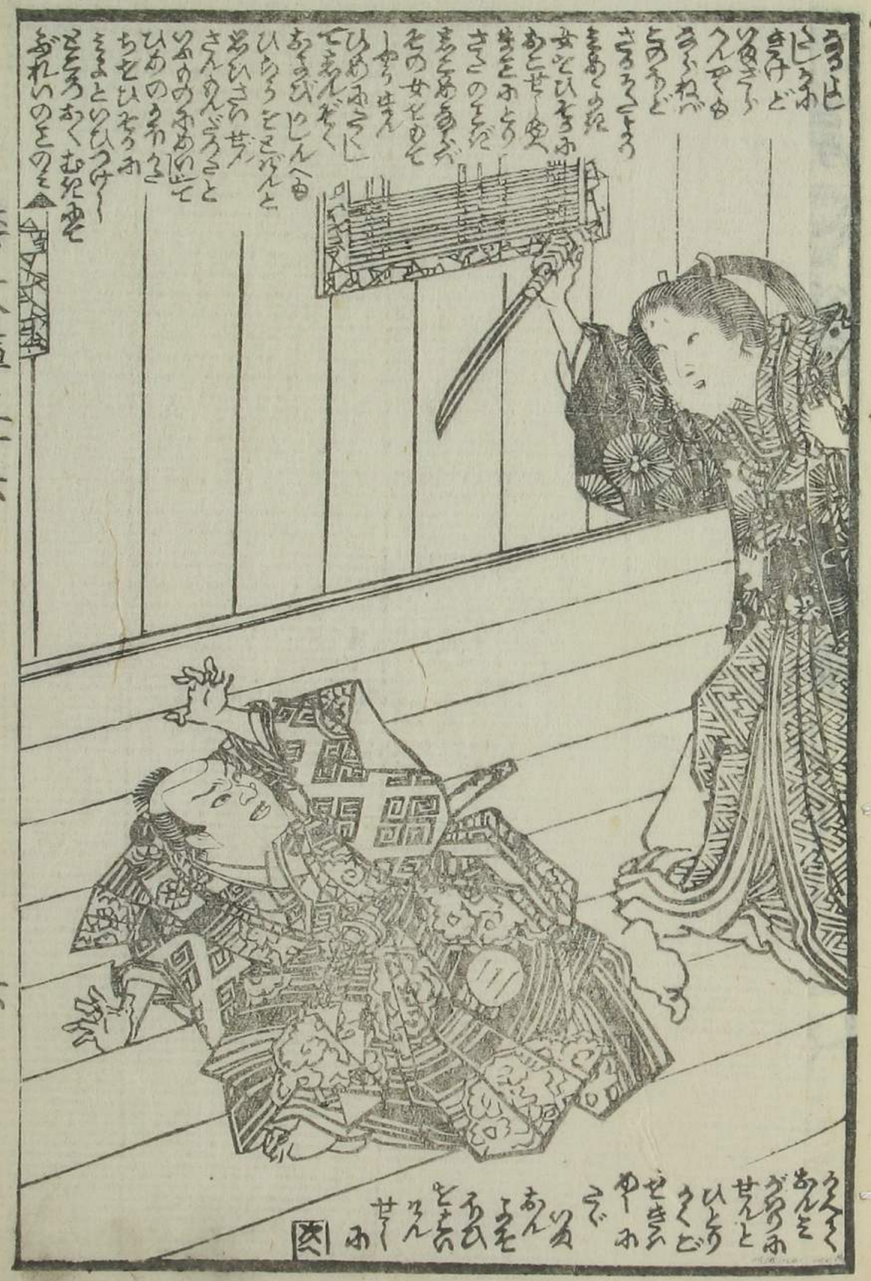
慶應三丁卯歲

季秋鼓兒

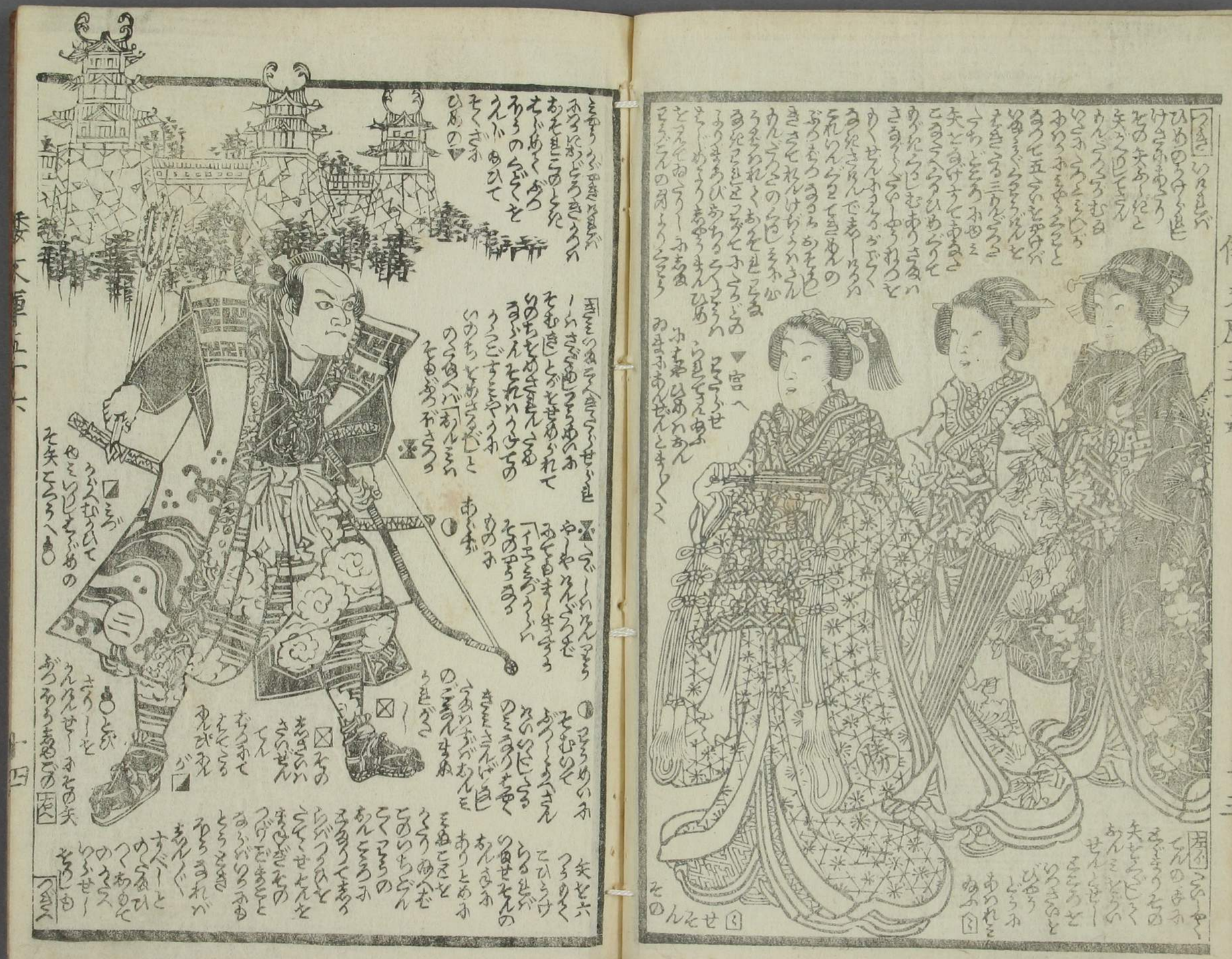
皇妃の婦司
提羅女
秦王の皇妃
勝髮姫

阿踰闍國
支秦王
提婆達多
の家臣
三聞
達太

羅閲祇城の
蓮華女
嫉女
得道



應賀作　國貞画



たん

河

河

蓮

阿

運

應賀作
國貞画

五十六編上
應賀作
國貞画
人形町
錦重堂製